

ROTEX からみた青少年交換プログラム

第 56 期 ROTEX 杉村 友菜様・第 57 期 ROTEX 伊藤 摩耶様

本日は、青少年交換プログラムの概要、ROTEX とは、活動報告の 3 点をお話させていただきます。

■青少年交換プログラムの概要

ロータリー青少年交換プログラムは、15 歳から 19 歳の青少年に 1 年間交換留学の機会を提供する「青少年奉仕活動」です。100 以上の国でこのプログラムが行われており、現在まで 95 年間続いています。目的は、学生の国際理解、異文化理解と親善の心を育むこと、国境を越えた友情と信頼を築き、世界の平和を実現するリーダーを生み出すことです。青少年交換委員会は、学生を取りまとめ、地区におけるイベントを企画、運営しています。月に 1 回青少年交換委員会を開き、学生の状況を共有し、問題解決案を話し合ったりしています。私達 ROTEX もこちらに所属しています。



当地区では、現在日本にきている海外学生が 10 名、来年度に海外に派遣される日本人学生が沖縄に 1 人を含む、10 名います。

具体的なプログラム内容は地区によって異なり、当地区では 5 年一貫のプログラムになっています。6 月ごろに選考試験が行われ、合格した中高生は「派遣予定学生」となり、海外に派遣されるための準備を行います。その後 2 年目に「小さな親善大使」として海外に派遣されます。現地の学校に通い、ホストクラブ訪問や世界中から集まった交換留学生と交流をします。日本の文化や現地での生活についてプレゼンするなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動を通じて、日本と派遣国の架け橋のような存在になれるように努力していきます。帰国してから 3 年間は、ROTEX として活動します。活動は多岐にわたりますが、来日学生や派遣予定学生の生活や派遣準備のサポート、異文化交流促進のための活動の企画運営、青少年交換委員会のサポート、卓話活動をボランティアで行っています。

■ROTEX とは

学生に一番近い先輩としてプログラム全体のサポートを行っています。3 年目の ROTEX が執行代として主に活動を行います。現在は 56 期が執行代を務めています。ジャパンツアーやサマーキャンプ、フィールドトリップの行程は執行代により決定されるため年度によって異なりますが、来日学生と派遣学生が日本文化を学び、異なる価値観に対して理解を深めることやコミュニケーションを促進できるような場作りに努めています。

■活動報告

今年度初めての行事として、8 月に 10 日間のサマーキャンプを所沢で行いました。来日学生は日本語の基礎を学ぶほか、風呂敷講座や書道体験、日本のアニメ映画鑑賞や商業施設での買い物、伝統的なうちわづくり体験などを通して、日本のポップカルチャーや伝統に触れ、最終日には日本語でのスピーチを行いました。派遣予定学生は、ロータリーやプログラムについて知ることや来日学生との関係作りの為に 4 日間のみ参加し、最終日には自分の興味関心について英語でスピーチを行いました。

昨年度の活動報告です。

9 月には、米山委員会の方からお声かけをいただき、2580 地区と 2620 地区の合同研修に参加しました。静岡県の柿田川の清掃と米山梅吉記念館訪問を行いました。今年度も、青少年交換プログラムの枠を超えた活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



続いて、茶道の稽古についてです。今日庵という由緒正しい場所でお稽古をしています。この稽古は当地区特有の活動で、ロータリアンさんや今日庵の方のご好意で続けさせていただいています。学生たちは日本の伝統的なもてなしができるようになり、帰国後や派遣中に家族や友人に茶道を披露する学生が沢山います。今年 2 月に行われた地区大会では、この学びを活かして呈茶席のお手伝いをする機会も頂きました。

2 ヶ月に 1 度の頻度で行われるフィールドトリップでは、日程調整から行程作成までのすべてを ROTEX が行います。昨年度は、10 月は鎌倉、2 月は中華街で 1 日遠足を、12 月にはクリスマスパーティーを行いました。日本の伝統的な建造物をめぐる他、学生同士の交流促進のために、グループ行動させるなど工夫をしました。

12 月には派遣生の派遣国が決定し、派遣生の気持ちの高鳴りがより感じられるようになります。学生が派遣国の言語でスピーチをする際には、その国から来ている来日学生に手伝ってもらうこともあります。

3 月 23 日から 31 日にかけて、西日本を巡るジャパンツアーを実施しました。このツアーは、青少年交換プログラムの中でも最大のイベントであり、ROTEX メンバーが一丸となって、行き先の選定やホテルの手配、1 日のスケジュールの企画・管理など、準備を進めてまいりました。今年度は静岡県を出発点とし、西日本を巡るルートで実施しました。広島では平和について語り合うディスカッションや宮島の訪問、愛知県では話題のジブリパークの見学、滋賀県では甲賀の里で忍者体験を行うなど、参加者が日本の多様な文化に触れることができる貴重な機会となりました。連日移動を伴うややハードなスケジュールではありましたが、来日生と派遣生たちの絆は一層深まり、10 日間を通じて、かけがえのない思い出が生まれたことと思います。

本日はこのような卓話の機会をいただきましてありがとうございました。今後も青少年交換プログラムへのご協力をよろしくお願いいたします。

